

### ★大東教会★

12月18日(日)14時から「第5回 飯盛山麓クリスマスフェスタ」を開催。第1部は三好長慶研究で第一人者の天野忠幸氏(天理大学准教授)による講演「飯盛城下のおもてなし」。第2部は下村修氏(関西フィルハーモニー管弦楽団コントラバス担当)と由美子氏(ピアノ担当)夫妻による演奏。

講演は、飯盛城主三好長慶の重臣でキリシタン大名の深野池領主三箇城主・三箇頼照(サンチョ)と息子頼連(マンショ)について。本願寺の証如や宣教師を舟遊びで歓待したことをお話しされた。演奏会では、コントラバスの低く響きのある重厚な音が聖堂に良く調和して感動。参加者は50数人で、そのうちの3分の1は教会以外の地域一般の方々。成功裏に終わり感謝しています。



コントラバスとピアノの音色が心を打つ

### ★玉造教会★

12月24日(土)17時から1時間、「カテドラル聖夜の祈り」を開催。玉造教会近隣のミッションスクール4校(城星学園小学校、ヴェリタス城星学園中学校・高等学校、明星学園中学校・高等学校、大阪星光学院中学校・高等学校)の児童・生徒によるさまざまな歌で紡ぐクリスマスの夜。

神聖な雰囲気と清らかな歌声に包まれて特別な夜となった。この機会に、信者以外の方にも教会に足を運んでいただいた。酒井俊弘補佐司教のお話をとおして、クリスマスをより深く味わっていただけたと思う。イエス・キリストがもたらす平和がこのように広がっていくことを願う。



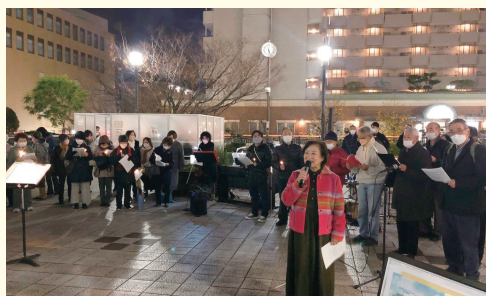
ミッションスクールの生徒たちによる合唱

昨年の2022年、コロナ禍が始まってから3度目のクリスマスを迎えた。主の降誕の喜びを信者と分かち合い、近所の人びとにもその喜びを届けるための行事が少しずつ再開したようだ。各地から、それぞれの取り組みの報告を紹介したい。今年こそは、より多くの場で福音の光を届けることができよう。



### ★芦屋教会★

12月4日(日)17時から芦屋キリスト教協議会(CCA)の恒例行事「クリスマスキャロル」が、JR芦屋駅北側のペデストリアンデッキを舞台に賑やかに開かれた。CCAはエキュメニカルな団体。各教会の有志による合唱と演奏、および祝福のメッセージで盛り上がった。



毎年恒例のCCAによるクリスマスキャロル



### ★北須磨教会★

12月24日(土)16時から一時間、神戸市営地下鉄「名谷駅」駅前広場でクリスマスキャロル演奏を行った。コロナ禍で演奏を中断して3年、規模を縮小しての再開トライアル。練習も呼びかけも控えて臨んだが、歌を愛する信徒が集まり、思いのほかの出来。道行く人も立ち止まって聞いてくださり「来年はもっと」と希望が膨らんだ。



3年ぶりの歌声。歌を愛する信徒たちで

### ★六甲教会★

12月18日(日)14時半から教会主聖堂で2年ぶりの「クリスマス音楽の集い」を開催。この集いは教会にゆかりのある演奏家に来演していただくこともあるが、今回は教会の典礼部音楽チームを中心としたメンバーで、演奏会を開いた。オルガン、声楽、バイオリンなど。

毎年来られるお客様が待ちかねたよう到来られ、万全の感染対策をしながら満席の状況。前面の大きなモニターには次々と美しい映像と解説が繰り広げられ、久しぶりのクリスマス音楽に浸っていただくことができた。



演奏者の皆さん(教会の典礼部音楽チーム)

### ★洲本教会★

12月24日(土)19時からの主の降誕ミサ前は、聖堂で信者の岡本みどりさんによる琴「六段」の演奏。悠久を誘う美しい音色が聖堂に響き渡り、ミサ前に厳かな雰囲気に包まれた。ミサ中には「光の式」を行い、信者がキャンドルを持って行列し、祭壇前にささげた。

25日(日)のミサ後11時半より簡単な茶話会を企画。コロナ禍の影響で今年はあいにく少人数の参加となった。主の降誕のミサの中では4人の幼児洗礼があった。子どもたちは教会の宝。幼児洗礼が多いと希望が見える。



幼児洗礼記念写真

### ★和歌山紀北教会★

12月18日(日)のミサ後11時半から、子どものクリスマス会とクリスマスキャロルを行った。最初に、和歌山信愛の中高生によるハンドベルと合唱。次に、子ひつじ会による小さなハンドベル。その後、大人の有志による得意の楽器をもつての演奏で「ようこそイエスさま」を歌った。一人ひとりが奏でる音色と歌声は新しい聖堂に美しく響いた。



合唱と演奏を行う子ども・中高生たち